

もっと現場を知る！職員短期派遣研修報告書

所属名	総務部総務課	氏名	乙社 圭賜
派遣先 団体名	特定非営利活動法人 もりふれ倶楽部		

① 研修の日時

7月26日(土)	ふるさと森林公園	森林ボランティア
8月9日(土)	ふるさと森林公園	自然観察会
8月23日(土)	道の駅頓原 冒険の森	飯南町安全作業技術研修
9月8日(月)	雲南市立西小学校	みーもスクール
9月19日(金)	邑南町立瑞穂小学校	出前講座
10月3日(金)	雲南市立西小学校	みーもスクール

② 研修の内容(できるだけ詳しく記載してください。)

○ 7月26日 森林ボランティア

松江市宍道ふるさと森林公園の果実の森において森林ボランティアで植栽の周囲の刈り払いを実施しました。真夏の青空が限りなく広がる炎天下での作業で、疲労や脱水による熱中症が心配される中での作業となりました。

大型遊具が設置された多目的広場を通過したところに果実の森があり、もりふれ倶楽部の方がオニグルミやクワなどの様々な植栽をされています。広大な敷地を主に草刈り機で草刈りをして、植栽を傷つけないために植栽付近は手鎌での作業でした。植えたばかりの植栽は、高さがひざくらいまでで雑草よりも小さいことがあります。植栽の種類を知らなくては、雑草とともに植栽を刈りってしまうこともあります。職員の方の指導の元で適切な除草に努めました。



刈り払い作業



刈り払い実施後

○ 8月9日 自然観察会

ふるさと森林公園において自然観察会を実施しました。翌日には台風11号が島根へやってくるので荒れた天候での観察会となりました。山や森を呆然と景色としては、眺めているものの、草木一つ一つを意識して見ているわけではないので、たくさんの発見がありました。その中でも印象に残った代表的な植物を紹介します。

- ・ヘクソカズラ

果実や花、葉を揉むと独特の臭気がある。花は名前とはことなり、きれいなので、諺の元となっている

「屁糞葛も花盛り」

いやなおいがあつてあまり好かれない屁糞葛でも、愛らしい花をつける時期があるように、不器量な娘でも年頃になればそれなりに魅力があるということ

- ・コウヤホウキ

古来、竹が様々な用途で使用され売買されていたため、竹の栽培が禁止された高野山において竹の代わりにほうきとして用いられた。高さは1 m未満くらいで枝が弾力性に優れているため、葉をとって束ねてほうきとして使用された。



ヘクソカズラ



コウヤホウキ（丸い葉っぱ）

○ 8月23日 飯南町安全作業技術研修

飯南町、東部森林組合、邑智森林組合、もりふれ倶楽部の共催によりチェーンソー講習が開催されました。林業の業務経験が豊富な森林組合の方を講師に迎え、林業の経験がある方からこれから木を伐採しようと考えている方が揃って講習を受講されました。島根はチェーンソー使用による事故の発生率が低いとのことで、林業従事者の安全の一端を担う講習です。

チェーンソーは、動く刃であり、万一身体に接触することとなれば重大な事故となります。使用にあたって、「自分を絶対に守る。」という原則の元で刃をよせないように使用しなければなりません。動力部分を身体に密着させ、刃が暴れるのをできるかぎり防ぎます。チェーンソー使用の基本姿勢を知らなければ、使用のたびに自分の命を危険にさらしており、受講者は講師の話や実習を熱心に聞いておられました。



講師による説明



実習風景

○ 平成26年9月8日 みーもスクール

雲南市の西小学校4年生絵を対象にみーもスクールの一環で、「音を絵にする」を最初
に実施しました。小学校4年生ならではの感性で大人では思いつかない個性の作品が作
成されました。次に、目隠しをして4班に分かれて列になって、校舎から、校内にある「岩熊
の森」まで散策を行いました。人が起きている間は、常に活動させている視覚が封じられて
いるため、聴覚、触覚が頼りです。どんなところを歩いているか、生徒がそれぞれ想像しなが
らにぎやかな行進となりました。到着した岩熊の森で指定した原っぱにもりふれ倶楽部の方
が人工物を隠し、生徒が探して、人工物が何個あるか数えるゲームをしました。各班の生
徒ごとで意見が別れるうえに、ヘビのおもちゃなどおもしろい隠し物があり、にぎやかなネイ
チャーゲームとなりました。



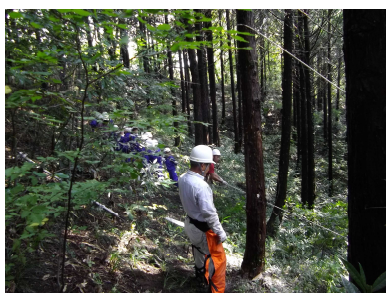
○ 平成26年9月19日 出前講座

邑南町の瑞穂小学校の生徒を対象に出前講座を実施しました。講座の前半において
40～50年前に植樹したスギ、ヒノキの植生のため、間伐の必要性を講義しました。講座の
後半では、木の実、木の枝などの木材を使用して動物を作成しました。一つ一つは、小さ
な木材ですが、生徒の想像力にかかるとたちまちかわいい動物が作成されました。自然の
木材のすごさや生徒の想像力に脱帽でした。



○ 平成26年10月3日 みーもスクール

雲南市の西小学校4年生絵を対象にみーもスクールの一環で、岩熊の森にある松食い
虫の被害により枯れた松の伐採の見学を実施しました。枯れた木は、倒木の危険性がある
ほか、松食い虫が他の松へ移っていくことが想定されるため、早期の伐採が必要です。間
近での松の伐採でプロのチェーンソーワークに生徒は、惜しめない拍手喝采を送りました。
間伐の必要性は、先の講座でも生徒には説明していましたが、生徒と一緒に実際に岩熊
の森で間伐作業を実施しました。病気などの理由で、間伐に適すと判断されたヒノキに
切れ込みを入れて、生徒みんなでロープを引っ張りヒノキを倒します。力を合わせてヒノキを
倒した後は、手ノコを片手に枝払いをみんなが実施しました。山の斜面でノコギリを使用す
るので、危険も伴いますが、生徒たちは熱心にかつ丁寧に作業を行いました。



③ 研修の感想

(研修の全般的な感想、各団体での活動の意義や協働に対する感想(研修前後における意識の変化)等について記入してください。)

参加して初めての体験ばかりでしたので、驚きの連続でしたが、その中でも毎週のようにイベントを企画されて、島根県の西は、益田や津和野から東は、安来まで全域で活動して、森林に関わる活動を実施されていることが一番の驚きでした。講座となれば、紙ベースの説明資料で終わるわけではなく、森林に入っただけの実習がついてくるので、生徒の印象には、深く刻まれる講座になっていると感じました。様々な方を対象に開催する講座や森林ボランティアなどの取組により森林が支えられ、守られているということを実感しました。

最後になりましたが、参加させていただくイベントごとに、いつもみなさんが暖かく指導し、受け入れてくださいました。本当にありがとうございました。

④ その他特記事項

(※今後の研修実施に当たっての改善点、留意しておくべきことなどがあれば記入してください。)

(注)研修日時・内容等がわかる資料があれば、添付してください。